

血液・感染症内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 多発性骨髄腫症例におけるアミラーゼ産生の臨床的意義

[研究機関名・長の氏名] 東京都済生会中央病院 高木 誠

[研究責任者名・所属] 塚田 唯子 血液内科 副医長

[研究の目的] 多発性骨髄腫の治療法の向上に役立てるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

多発性骨髄腫の患者さんで、1995 年 1 月 1 日から 2017 年 5 月 31 日の間に、骨髄または髄外病変病理組織生検標本が保管されている方

○利用する検体・カルテ情報

骨髄または髄外病変病理組織生検標本：

塗抹標本、フローサイトメトリー、染色体、Fluorescence in situ hybridization (FISH)、病理学的所見

カルテ情報：

基本情報：年齢、性別、全身状態、診断名、合併症、治療内容

血液検査：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、アミラーゼ、LDH、BUN、クレアチニン、カルシウム、アルブミン、免疫グロブリン(IgG, IgA, IgM, IgD)、免疫電気泳動、免疫固定法、 $\beta 2$ ミクログロブリン、CRP

尿検査：尿蛋白量、ベンスジョーンズ蛋白 (BJP)

画像検査：全身骨X線, CT, MRI, PET/CT

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。診療情報などのデータは、個人を特定できない形式に記号化し番号により管理されますので、患者さんの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

東京都港区三田 1 丁目 4 番 17 号

東京都済生会中央病院 血液内科 担当医師 塚田 唯子

電話 03-3451-8211 FAX 03-3451-6102